



# 磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校  
令和7年1月17日  
第12号  
発行責任者 天野 圭

キラキラとひとみが輝く二小の子ども

## 【令和7年度 よろしくお願いたします】

新年明けましておめでとうございます。

さて、今年は「巳年」です。へびのように少しずつ脱皮を繰り返し、子どもたちも私たちも成長できる年であればいいなと願っております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

正月明けは、さほど積雪がなかったのですが、先週の大寒波により、想像以上に大雪となり、降雪量も増え、学校の周辺も雪で埋まってしまいました。

さて、第3学期は、1・2学期と比べて登校日が少ない学期です。まとめの時期とも言われますが、1日1日を大切に生活し、3月の授業参観では、お家の人、友達に成長した自分を見せることができたなら最高だと願っております。元気なあいさつや場に応じた会釈等を継続しながら、意義のある3学期になるよう私たちも支援、助言をしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。

## 【校庭でのスキー学習のポイントは】

校庭でスキー学習ができる程の積雪となりました。保護者の皆様におかれましては、スキー学習に伴うスキー用具の準備等のご協力、誠にありがとうございます。

さて、本来スキーとは上から下へと斜面を滑走して楽しむスポーツです。それでは、なぜリフトのない校庭で学習するかについて考えて見たいと思ひます。

### 【低学年】

スキー用具に慣れ親しむために、○ブーツの履き方・脱ぎ方 ○ストックの握り方 ○スキーの履き方・外し方 ○スキーを履いて平地滑走になれること ○できる範囲で緩やかな斜面をまっすぐに滑走できること ○安全な転び方 起き方 ○スキーを束ねて安全にしまうこと等です。

低学年では、履き方・持ち方・しまい方が中心になります。

### 【中学年】

低学年の学習を基に、○スキーを並行にしたり、逆ハの字にしたりして斜面を上ること ○緩やかな斜面で1・2回、ターンして滑ること

中学年ではターンすることも大切ですが、以外とスキーを並行にしたり、逆ハの字にしたりして斜面を上ることはとても大切です。その理由は、スキーで斜面を上ることができない場合、スキーのエッジを立ててターンすることができないことに繋がるからです。リフトのない校庭では、スキーで斜面を上る大切さ（エッジの立て方）を学んでほしいと思ひます。

次ページへ



## 【高学年】

低中学年の学習を基に、○スケータィングで平地滑走ができること ○斜面の状況に応じて滑走できること等です。

特に高学年では、スキーを履いて平地でのスケータィング滑走ができることが重要です。自分が思うように斜面でスキーをターン（操作）させるためには、スキーのセンター部分に乗ることが大切です。センターとは、スキーブーツの中心あたりになります。そこに荷重することによってスキーがたわみ、ターンできる仕組みになっています。近年登場したカービングスキーは、センター部が細くターンしやすい形状ですね。スキーを前に走らせるという平地でのスケータィング滑走は、スキーのよい位置に乗るため、斜面でのスキー操作のためにも重要な練習になります。

学生時代、インカレが終わると山形蔵王スキー学校や旧猪苗代リゾートスキー学校でインストラクターのアルバイトをしていましたが、平地でのスケータィング滑走を見ると、大まかにその子のレベルが分かりました。

以上のように、各学年に応じたねらいを記載いたしました。校庭での練習も意義のある内容にしていきたいと思ひます。

## 【教職員研究物展 準特選】

今年も各学校の教職員による「北会津地区小・中・義務教育学校教職員研究物展」が行われました。今年度も北会津各小学校から21校の参加があり、特選4校 準特選6校 入選11校の中で本校は特選4校には入れませんでした、準特選6校の1校に選ばれました。

以前ご説明いたしましたが本校の研究内容は、「学級活動(1)話し合い活動」です。他校は、国語や算数が基本だと思ひますが、本校の児童の実態から表現力や自発的・自治的な能力の育成を目指し、話し合い活動に焦点をあてて研究を重ねてきました。

年末の子どもたちのアンケートから

- ・計画委員の活動をがんばった。
- ・積極的に発言した。
- ・必ず1回は自分の意見を発表した。
- ・仲間になる考えをまとめることができた。
- ・いっぱい意見を言った。
- ・友達の意見のいいところを見つけた。
- ・友達の考えを最後までよく聞いた。
- ・決めたことを一生懸命やれた。
- ・自分の意見を言えるようになった。等



話し合いは、大人になっても大切になります。そんな中、子どもたち、先生方と協力して入賞できたことは大変うれしいことだと思ひます。今後も子どもたちが、話し合いを楽しみ、自発的・自治的に学級や学校運営に携わるよさを味わってほしいと思ひています。

## 【校長のひとり言】

早朝より自宅の雪かきや学校の雪かき、さらに帰宅して自宅の雪かき、さらに休みの日まで雪かきと、除雪機械やローダーを持っている家が「うらやましいな。」と特に思えた年始でした。

そんな中、ある早朝、子どもを送迎してきた保護者の方が、玄関先で雪に埋まっていた誰の物か分からないスキーセットの雪を払い、倒れないように立てかけてくださいました。このさりげない保護者の方の姿から「これが二小の保護者・地域の方の力だ。」と心強くなりました。その日は、気温が低く、肌に刺さる強風でしたが、どこか身体が温かくなった早朝でした。